CSR活動の推進

方針

「ニトリがあってよかった」そう実感していただける企業を目指して、ニトリグループを育て、支えてくださる国・地域・社会に恩返しをするために、「人材支援」・「環境支援」・「文化支援」を重点分野とした、さまざまな地域貢献活動を行っています。

「令和6年能登半島地震」への支援

ニトリグループでは、被災地域の一刻も早い復興の力になるべく、令和6年能登半島地震において、被災者の方々のご要望をお伺いしながら、発災後から継続した支援を行っております。

株式会社クレディセゾンと協同し、業界の垣根を越え、総額1.2億円分の被災地支援の枠組みを構築。避難所や仮設住宅等に向けて、国や県の災害救助法の適用とならない生活必需品を中心に、被災自治体と連携し、暮らしに寄り添うニトリの商品を提供することで支援を行っています。

支援内容(2024年6月末時点)

2024年1月
- 奥能登地域へ
  枕・枕カバー 各1,000点を寄贈
- 石川県へ
  洗濯ロープ 1,000点を寄贈
- 珠洲市へ
  タオル・スリッパ等 16,000点を寄贈

2024年2月
- 穴水町、七尾市、珠洲市へ
  敷布団・布団セット 360点を寄贈

2024年3月
- 七尾市へ
  調理器具・キッチン用品等 850点を寄贈

2024年4月
- 穴水町へ
  二段ベッド・布団セット・食器類 223点を寄贈
  七尾市へ　ランドセル等 57点を寄贈

2024年5月
- 輪島市仮設住宅4か所へ
  布団セット 302点、電子レンジ 72点を寄贈

2024年6月
- 輪島市仮設住宅8か所へ
  布団セット 1,087点、電子レンジ 113点を寄贈
- 輪島市避難所15か所へ
  冷蔵庫 35点、掃除機 43点、
  敷パッド・肌掛け布団 各1,000点を寄贈
- 珠洲市仮設住宅2か所へ
  集会所の家具・家電 141点を寄贈

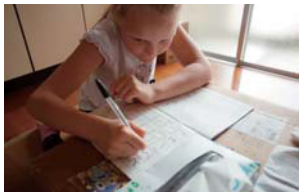
以降、継続支援中

日本国内のウクライナ避難民　生活費支援・就労支援

2023年3月1日以降に日本に入国した、ウクライナ避難民の方々を対象に、大人一人当たり8万円／月（20歳未満は4万円／月）の生活費支援金を、公益財団法人 似鳥国際奨学財団を通じて毎月支給しています。

また、全国の店舗や物流拠点（一部を除く）で就労支援も実施し、日本語が話せなくても業務可能な体制を整備しています。生活費・就労の2つの支援を実施し、日本で自立し安定した生活を送るための一助となれるよう、取り組んでいます。

支援実績(2024年6月末時点)
- 生活費支援:114名
- 就労支援:118名



脱炭素チャレンジカップ

ニトリグループは、2015年度より「脱炭素チャレンジカップ」を応援しています。本大会は、脱炭素社会に向けた活動を実施している学校や企業、NPOなどの団体が一堂に会し、その活動を競い合うコンテストです。取り組みのノウハウや情報を共有し、脱炭素社会の未来を創造する「場」となることを目指しています。ニトリグループでは、この取り組みを通して夢や希望に満ちた輝かしい未来をみんなで築いていきたいという想いを込め「ニトリ最優秀 夢・未来賞」を創設し、賞の趣旨に相応しい取り組みを選出・表彰しています。

2023年度は、「小さなことから積み重ねていきたい」という想いのもと、「自然のむげんループ」に着目し、資源循環や生物多様性にもつながる「食品ロス削減と脱炭素社会実現のためのミミズコンポスト」に取り組んだ杉並区立西田小学校様に授与しました。

「みらいIT人材」の育成

2021年より、北海道・札幌市・北海道大学と連携協定を締結し、デジタル技術やデータの力で地域社会の課題を解決し、みらいの社会を創造できる「みらいIT人材」の育成に取り組んでいます。2024年3月には、この取り組みをより一層加速させることを四者で改めて認識し合い、連携協定を再締結しました。創業の地である北海道からみらいを担う人材が多数輩出され、地域で活躍することで街全体の活力を生み出し、さらには世界との懸け橋となっていくことを目指して取り組みを進めていきます。

人材育成支援／文化・芸術・伝統支援

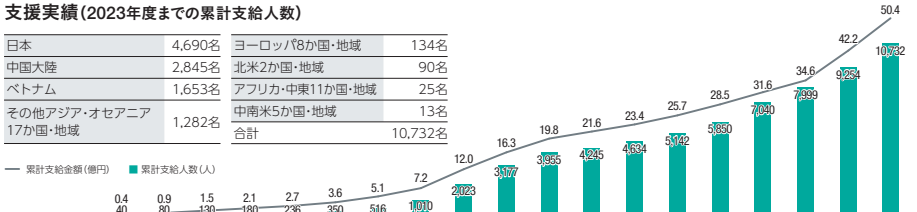
公益財団法人 似鳥国際奨学財団

ニトリグループが描くロマン（志）の実現に大きな力を貸してくださったアジア諸国の方々への恩返しとして、2005年3月に「似鳥国際奨学財団」を設立。学生向けの返済不要の給付型奨学金による支援のほか、2023年度からは、奨学生向け学生寮の運営、被災者等への支援事業を開始し、これまでに、国内外47の国と地域、延べ10,732名を支援してきました。今後も世界各国の友好親善と人材育成に寄与するため、未来を担う若い世代への支援を広げてまいります。

支援実績(2023年度までの累計支給人数)

日本	4,690名
中国大陸	2,845名
ベトナム	1,653名
その他アジア・オセアニア17か国・地域	1,282名

ヨーロッパ8か国・地域	134名
北米2か国・地域	90名
アフリカ・中東11か国・地域	25名
中南米5か国・地域	13名
合計	10,732名



年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
支給人数(名)	40	40	50	50	56	114	166	494	1,013	1,154	778	290	389	508	708	1,190	959	1,255	1,478

公益財団法人 似鳥文化財団

公益財団法人似鳥文化財団は、文化・芸術・伝統の発展と継承を支援し、新しい文化形成の架け橋となるべく、2011年4月に設立。同財団が運営している北海道小樽市の美術館群「小樽芸術村」では、2022年に4館目となる「西洋美術館」がオープン。2023年度の年間来場者は約85万人を超え、小樽の観光スポットとして注目を集めています。